

中間報告会及び最終発表会での学生から課題解決策の提案
並びに企業様から学生の提案策に対する講評
並びに課題に係る参加者アンケートの設問結果の抜粋



令和2年度 「石狩管内企業と学生との課題解決協働事業」



北栄興業株式会社
&
北川ゼミ



【北栄興業株式会社（北川ゼミ）】

- 課題1. 「工場内に5Sを浸透させるにはどうしたらよいか」
- 課題2. 「次工程にスムーズに仕事を流すためにはどうしたらよいか」

《中間報告》

北川ゼミでは、まず5Sについて分かりやすく整理し、工場内における事故や怪我などを防止するため、工場内の危険な場所を無くすこととのほか、5Sや工程の問題点を整理して発表。最終発表では、これらの問題点に対し企業様からの意見を取り入れながら、どのように円滑な工程や5Sが阻害されているのかを見出し解決策を提案予定。

《最終発表》

5Sの浸透に対しては、工場内の整理・整頓、職人に対する指導、在庫の把握・管理、使用されていない安全柵などの撤去、個人管理の工具と会社管理の工具の分別し、私物の使用はしないことのほか、アセチレンや酸素のガスボンベ付近に設置している消火器を火災の際に使用可能な場所に設置することなどを問題点から生じるデメリットを解説しながら、安全講習の実施など、以前事故が起きた場所に注意書きを表示するなどの改善策を提案。

工程の問題点として、トロッコに手すりを設置するほか、週初めに大まかな工程表を配付し、各部門の代表者に無線を持たせ、意思疎通を図り、部署ごとに詳細な工程表を作るとともに、職人に強く言えない点についてはベテランで人望のある人にリーダーシップを取ってもらい指導してもらうことなどを提案。

《最終発表における企業様からの講評》

今回、消火器の話もそうですし、トロッコの話もそうなんですけども、いろいろと出していただいた問題点、指摘されているところだとか、それに向けての解決策までいろいろと話あってもらっていますので、会社の方にきちんと持ち帰って、できるところはすぐに対応したいなというふうに思っています。僕たち、仕事に慣れている部分というのもあるもんですから、問題点を出せと、安全当番の人が回って、注意点、指摘するところがないかと話をしても、出てこないところが多いんです。学生さんでも、こんだけ指摘点を出しているんだぞというところを工場の中でもう一度、話をしながらやっていければなというふうに思います。これいいなというふうに思ったのは、ベテランの人にリーダーシップを取らせるという話、やらせるべきだなと思いました。やっぱり部署、部署でこの人のいうことだったら聞くぞという人にリーダーシップをとってやってもらえれば、できることなのかなというふうに思っている、どれだけやるのに時間がかかるのかということは分からないですけど、そこら辺は取り組んでいってみたいなと思いました。今後、今回の課題について、きちんとした形で解決できるような企業作りをしていかないといけないというのを今回の事業で感じる事ができました。

《課題に係るアンケート結果抜粋》

○企業の課題内容

(回答数：教員1名、学生6名)

	満足	やや満足	やや不満	不満
教員	1	0	0	0
	適正	やや難しい	難しい	
学生	2	3	1	

○課題に対する提案内容

(回答数：企業4名、学生6名)

	満足	やや満足	やや不満	不満
企業	4	0	0	0
	満足	やや満足	やや不満	
学生	3	3	0	

《オリエンテーション》

10月14日(水) 15時30分～
北海道科学大学E棟403室で実施

《現地フィールドワーク(企業見学会)》

10月21日(水) 13時00分～17時15分(往復の移動時間込み)
北榮興業株式会社恵庭工場で実施



《中間報告会》

11月18日(水) 14時40分～15時55分
北海道科学大学G棟206室で実施



《最終発表会》

12月8日(火) 10時40分～11時45分
北海道科学大学E棟303室で実施

